製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200700455 2007-3585 2007/09/16 （事故発生地） 静岡県	エアコン ダイキン工業株式会社 F40BTDV-C	宿泊施設の客室で異臭がし、従業員が発煙を確認、その直後に当該機器の右側面から発火し、当該機器の一部を焼損した。 （火災）	事故の原因は、ファン電動機のコネクタ部が異常発熱し発火したものと考えられた。異常発熱の原因が、接触不良によるものか、異物付着によるものであるかは、焼損が著しく特定できなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2007/09/21)
A200700465 2007-3657 2007/09/16 （事故発生地） 東京都	照明器具 オーデリック株式会社 OL131175	集合住宅の一室に設置された当該製品を点灯後しばらくして、当該製品から出火したため、消火した。 （火災）	調査の結果、スイッチ内部でトラッキング現象が発生し、炭化が進行することによって絶縁劣化し、異極間でスパークし発火したものと考えられたが、使用状況等が不明であるため、事故原因を特定することができなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2007/09/27)
A200700470 2007-3660 2007/09/19 （事故発生地） 神奈川県	電気がま 株式会社日立ホームテック（現 日立アプライアンス株式会社） RZ-AS18	火災が発生した。現場に当該製品があった。 （火災）	調査の結果、当該製品の内部の電気部品に溶融痕が見られるものの、当該溶融痕から発火したものか、外部からの焼損により生じたものか、確認ができず、出火元及び原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2007/09/28)

製品区分：　01.家庭用電気製品

No. 0002

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200701069 2007-6868 2008/01/22 （事故発生地） 兵庫県	エアコン ダイキン工業株式会社 FHYCJ140F	店舗で運転中の当該製品の吹き出し口から出火した。 （火災）	事故原因は、長期間の使用（約１２年）により圧縮機の摺動部が摩耗して絶縁不良を起こしたことにより漏電が発生し、さらに据付工事説明書で指定された漏電ブレーカー及びアース工事が実施されていなかったため、漏電電流が室内機の熱交換器部でスパークし、焼損したものと考えられた。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/03/03)
A200800026 2008-0193 2008/03/31 （事故発生地） 東京都	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） 株式会社シー・シー・ピー KH-800SI	使用中に異臭と発煙がし、製品背部から発火しているのを発見し、消火した。製品の一部が焼損し、絨毯が焦げた。 （火災）	調査の結果、ヒーター線等の内部配線を保護するチューブが適正に取り付けられていなかったために、首振り動作によって金属製ベースの配線貫通孔端部と接触した際に内部配線の絶縁被覆が損傷を受け、さらに芯線が傷つけられ、スパークが発生し樹脂製外郭等に着火したものと考えられた。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/04/07)
A200800031 2008-0196 2008/01/30 （事故発生地） 広島県	電気冷蔵庫 松下電器産業株式会社 不明	当該製品の背面下部付近から出火する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、当該製品付近からの出火した可能性が高いと考えられるが、本体内部の電気部品、配線等に発火の痕跡は認められず、電源コードに見られる溶融痕は、一次痕か２次痕かの特定ができず、出火元及び原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/04/08)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200800109 2008-0614 2008/04/24 （事故発生地） 神奈川県	電気洗濯機 三洋電機株式会社 ASW-A70V	洗濯を開始してしばらくすると、異音がしたため確認すると、当該製品の裏側に火が見えたため消火した。 （火災）	事故の原因は、当該製品のモーター起動用コンデンサ（ヒューズ機構付き）の不具合によって絶縁劣化し、発熱、発火したものと推定された。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/04/28)
A200800140 2008-0683 2008/01/13 （事故発生地） 東京都	延長コード 株式会社オーム電機 HS-T2066HW	異臭に気がつき確認すると、当該製品の差し込みプラグ部分から発煙していた。 （火災）	事故原因は、プラグ栓刃のかしめ部で、接触不良が生じて異常発熱が生じ、火災に至ったものと考えられる。なお、接触不良が生じた原因は特定することが出来なかった。	引き続き同様の事故発生に注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/05/07)
A200800162 2008-0763 2008/05/05 （事故発生地） 京都府	除湿機 松下エコシステムズ株式会社 CD-AB56T	当該製品付近から出火したと思われる火災が発生した。 （火災）	調査の結果、当該製品は焼損が著しく、確認できた内部部品や配線等に発火の痕跡は認められなかった。しかしながら、当該製品以外に出火元となるものは見あたらず、当該製品は廃棄されていたことから入手できず、出火元かどうか原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/05/15)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200800231 2008-0994 2008/05/30 （事故発生地） 神奈川県	換気扇 松下ｴｺｼｽﾃﾑｽﾞ株式会社（現 ﾊﾟﾅｿﾆｯｸｴｺｼｽﾃﾑｽﾞ株式会社） FY-08P	トイレに設置されていた当該製品が焼損し、壁と床が焦げた。 （火災）	事故原因は、長期間（約２２年間）使用されていた当該製品のモーターシャフトがロックしたため、モーター内でショートが発生し、発火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、当該機種は、１９８６年以前に製造されたもので、これまで同様の事故は発生していない。	(受付:2008/06/04)
A200800234 2008-0997 2008/05/27 （事故発生地） 東京都	エアコン（窓用） 松下電器産業株式会社 CW-C16AS	店舗の、不在の部屋で出火する火災が発生し、火災現場に当該製品があった。 （火災）	調査の結果、残存していた当該製品の電気部品や内部配線等に発火の痕跡は認められなかったが、本体上部の焼損が著しく、基板の一部や電源コードが未回収であることから、出火元及び原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/06/04)
A200800239 2008-1019 2008/05/23 （事故発生地） 兵庫県	扇風機 松下ｴｺｼｽﾃﾑｽﾞ株式会社（現 ﾊﾟﾅｿﾆｯｸｴｺｼｽﾃﾑｽﾞ株式会社） F-L301D	当該製品付近が出火元と思われる火災が発生した。 （火災）	事故原因は、長期間（約２４年）使用されていた当該製品のモーターシャフトがロックしたため、モーター内でショートが生じモーター内部に堆積した綿埃に着火して火事に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、当該機種は、１９８８年以前に製造されたもので、これまで同様の事故は発生していない。	(受付:2008/06/06)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200800252 2008-1086 2008/05/31 （事故発生地） 徳島県	電気こたつ 株式会社ダイエー YDT-105NA	当該製品の電源コードの中間スイッチ付近が出火元と思われる火災が発生し、周辺が焼損した。 （火災）	事故の原因は、当該製品の電源コードの耐屈曲性能が８年間の使用で低下し、繰り返し屈曲・引っ張り等の機械的ストレスを受け、発火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/06/10)
A200800269 2008-1133 2008/04/16 （事故発生地） 宮城県	殺菌ランプ 東芝ライテック株式会社 GL20-A	当該製品を量販店から購入し、キッチンライトとして使用していたところ、２名が皮膚の炎症を発症し、うち１名が重傷となった。 （重傷）	事故原因は、殺菌専用の紫外線ランプである当該製品を一般の蛍光ランプと誤って購入し、台所の照明として使用した誤った使用方法が原因であったものの、当該製品が目や皮膚に有害であることを示す文字が小さかった上に、一般の蛍光ランプと酷似した包装であったことや販売店で同じ場所で販売していたことも影響したと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、製造事業者である東芝ライテック株式会社では、表示を改善し、「強い紫外線が出ており、有害・危険であること。」等を大きく表示することとした。また、一般用のランプ等と同時に陳列して販売する方法を取りやめています。	(受付:2008/06/12)
A200800286 2008-1200 2008/06/08 （事故発生地） 大阪府	電気洗濯乾燥機 東芝ホームアプライアンス株式会社 TW-741EX	当該製品を運転したまま外出したところ、火災が発生した。 （火災）	事故の原因は、当該製品の温度ヒューズリード線のコネクター端子カシメ部付近で芯線が断線して、断続的通電が繰り返されたため、異常発熱が生じ、発火したものと考えられた。断線の原因は、焼損が著しく特定できなかった。なお、当該製品は、断線によるヒーターへの通電エラー等によって複数回運転が停止していた記録が確認されており、また、当該事業者のサービス会社による修理が行われていた。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/06/16)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200800327 2008-1334 2008/06/25 （事故発生地） 東京都	加湿器 株式会社セラヴィ CLV-082	店舗内で使用していた当該製品の電源を入れたまま帰宅し、翌朝出勤すると室内が汚損しており、当該製品が焼損して、自然鎮火していた。 （ 火災 ）	事故の原因は、当該製品がペットショップで床に置いて使用されていたことから、ファンより吸引された大量の動物の毛などが送風経路にある内部の電源基板に付着したところに、当該製品から吹き出された霧によって湿気を帯び、基板の端子部でトラッキング現象が生じ、出火したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/06/26)
A200800395 2008-1568 2008/07/09 （事故発生地） 愛知県	温水洗浄便座 株式会社日立ハウステック(現　株式会社ハウステック) HC-200C	家人がトイレから出火しているのに気付き、消火した。当該製品の一部が焼損し、トイレ内が汚損した。 （ 火災 ）	事故原因は、当該製品のヒーター線の端子のはんだ付け部が、長期間（１８年間）使用されている間に、はんだ割れをおこし、出火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生に注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/07/16)
A200800417 2008-1619 2008/07/05 （事故発生地） 千葉県	テレビ（ブラウン管型） 三菱電機株式会社 21C680	当該製品から発煙した。 （ 火災 ）	調査の結果、当該製品内部の部品（フライバックトランス）の外郭の一部が溶融し、内部の高圧巻線に溶融痕がみられた。事故の原因は、製造後長期間（約２３年）経過しており、フライバックトランス内部の高圧巻線が絶縁劣化してレイヤショートし、過熱し発煙したものと考えられた。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、製造事業者である三菱電機株式会社では、長年使用したブラウン管テレビは、部品の劣化によって発煙等のおそれがあるため、映像や音に異常があった場合や異音がする等の症状があれば使用を中止するよう呼びかけている。	(受付:2008/07/23)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200800425 2008-1652 2008/07/03 （事故発生地） 福岡県	ドライヤー 株式会社クレイツ 5498	当該製品を使用していた店舗が閉店後に火災が発生し、翌朝、自然鎮火していた。 （ 火災 ）	事故の原因は、スイッチ基板上に溶融痕が見られ、当該箇所からの出火と考えられるが、基板の一部が焼失しており、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生に注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/07/25)
A200800466 2008-1897 2008/06/29 （事故発生地） 沖縄県	扇風機 株式会社シー・シー・ピー(輸入事業者：Asahiｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝから事業 EL-26M	当該製品を使用中に首の付け根付近から発火する火災が発生した。 （ 火災 ）	調査の結果、当該製品の首振り部にある内部配線が断線し溶融痕が見られた。製造時の不具合によって、首振り動作中において内部配線が強い屈曲を受けていたために、内部配線が半断線し、スパークが発生し、発火に至ったものと考えられた。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/08/04)
A200800476 2008-1951 2008/07/28 （事故発生地） 滋賀県	エアコン（室外機） 三洋電機株式会社 SAP-U222C	当該機器から出火する火災が発生した。 （ 火災 ）	事故原因は、長期間の使用（３０年以上）による振動等によって電源電線の絶縁被覆が劣化したために、電源芯線が露出し、電装箱と接触して短絡し、出火に至ったものと考えられた。	製造事業者である三洋電機株式会社では、当該機種を含む１９７４年から１９７６年の間に製造したエアコンについて平成２２年５月２１日にプレスリリースを行うとともに事業者ホームページに掲載して、使用者へ告知し、使用の中止を呼びかけることとしました。	(受付:2008/08/07)

製品区分： 01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200800528 2008-2135 2008/08/09 （事故発生地） 岐阜県	電気がま 鳥取三洋電機株式会社 ECJ-ID10(W)	当該製品周辺が焼損する火災が発生した。 （ 火災 ）	調査の結果、当該製品の底面に取り付けられているコードリールの固定端子と回転接点の接点部分が溶融・焼失しており、当該部分で接触不良となり発熱し、周辺の樹脂が絶縁劣化したためにショートし、出火した可能性が考えられたが、当該部分が焼失していることから、原因を特定することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/08/21)
A200800539 2008-2229 2008/08/13 （事故発生地） 千葉県	ポータブルＤＶＤプレーヤー 株式会社東商（輸入事業者） PDV-1915(W)（株式会社山善”Qriom”ブランド）	当該製品を充電中、バッテリー部から発火し、周辺が焼損した。 （ 火災 ）	事故品は、バッテリーパック内の２つのバッテリーセル内の一つが燃えており、バッテリーセルが発火した原因は、バッテリーセル内に内在していた異物が経年によって拡大し、セパレーターに傷をつけたこと等によりセル内でショートした可能性が高いと推定された。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、株式会社山善では、平成２０年９月２日から事故が発生したこと及び使用上の注意とともに、使用中熱くなった場合には使用を中止することをホームページで注意喚起している。	(受付:2008/08/25)
A200800595 2008-2631 2008/08/12 （事故発生地） 滋賀県	電気冷蔵庫 静岡製機株式会社 GB2000D	当該製品を設置している納屋及び棟続きの建物が全焼する火災が発生した。 （ 火災 ）	調査の結果、回収された当該製品の電気部品に発火の痕跡は認められなかったが、家屋等の焼損は著しく、当該製品の主要な電気部品が焼失していることから、出火元及び原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/09/12)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200800602 2008-2623 2008/09/06 （事故発生地） 新潟県	電気洗濯機 三洋電機株式会社 ASW-50S3	当該製品を使用していたところ、本体から発煙した。 （火災）	事故の原因は、当該製品のモーター起動用コンデンサ（ヒューズ機構付き）の不具合によって内部短絡し、発煙したものと推定されるが、短絡した原因は特定できなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/09/12)
A200800605 2008-2637 2008/08/20 （事故発生地） 東京都	電気冷蔵庫 株式会社ニットー冷熱製作所 不明	当該製品付近から出火したと思われる火災が発生し、事務所の建物が全焼した。 （火災）	当該製品のコンプレッサーの端子部が過熱したことにより出火に至ったものと考えられるとの情報があるが確認できず、事故品及び事故同等品を調査することができなかったことから、接触部過熱の要因は特定できなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/09/12)
A200800614 2008-2762 2008/09/07 （事故発生地） 大阪府	テレビ（ブラウン管型） シャープ株式会社 27C-V6	夜中に異変に気付いて目を覚ますと、当該製品後方付近から出火していた。 （火災）	事故原因は、長期間（約２０年）使用された当該製品内部の水平出力トランジスター付近の基板部から発火したと推定されるが、焼損が著しく、発火の原因を特定することができなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/09/16)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200800697 2008-3070 2008/09/20 （事故発生地） 群馬県	扇風機 株式会社シー・シー・ピー S-SK2001M	当該製品が出火元と思われる火災が発生した。 （火災）	調査の結果、火災現場においては当該製品及びその周辺のみ焼損しており、出火元になりうる製品は当該製品しかありえない状況であった。モーターや電源プラグ等に異常は認められなかったものの、焼損が著しく、基板部品等が回収されておらず、焼損に至るプロセスが不明であるため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/10/10)
A200800748 2008-3316 2008/10/15 （事故発生地） 岡山県	テレビ（ブラウン管型） オリオン電機株式会社 21FX-001RR	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、当該製品は、原形を留めないほ焼損が著しく、焼損状況からメイン基板の電源回路部付近から出火した可能性が考えられたが、事故の原因を特定することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/10/27)
A200800760 2008-3315 2008/10/20 （事故発生地） 東京都	電気温水器 東芝機器株式会社 HPL-TL374MK	当該製品から焦げ臭いにおいがしたため、修理依頼をし、確認したところ、製品内部の部品が溶解していた。 （火災）	事故の原因は、当該製品内部の電気部品（リレー）の接点部で異常発熱が生じ、当該製品から発煙したものと考えられたが、異常発熱をした理由は特定できなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/10/29)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200800874 2008-3682 2008/11/12 （事故発生地） 東京都	ディスプレイモニター 日本ヒューレット・パッカード株式会社 L1955　LCDフラットパネルモニタ	当該製品から発煙した。 （火災）	調査の結果、当該製品の電源基板に焼損が見られたこと、基板にはんだクラックが見られたことから、はんだ付け不良によりスイッチングトランジスターが焼損し、発煙に至ったものと考えられた。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/11/26)
A200800907 2008-3739 2008/11/20 （事故発生地） 福岡県	電気温風機（セラミックファンヒーター） 三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社 R-CF16	当該製品を使用していたところ、焦げ臭いにおいに気付き確認すると当該製品が燃え尽きくすぶっていた。 （火災）	調査の結果、当該製品の切換スイッチ端子部に溶融などの異常がみられた。火災現場においては当該製品及びその周辺のみ焼損しており、出火元になりうる製品は当該製品しかありえない状況であるが、焼損が著しく、切換スイッチの固定端子の一部や転倒ＯＦＦスイッチの可動端子などが回収されておらず、焼損に至るプロセスが不明であるため、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/11/28)
A200800937 2008-3912 2008/12/01 （事故発生地） 千葉県	電気ストーブ（カーボンヒーター） 燦坤日本電器株式会社（輸入事業者） UHC-9T	異音がしたため確認すると、当該製品下部付近から発火していた。 （火災）	事故原因は、当該製品の強弱切替え用ダイオードに部品不良があり、発熱し、発火したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/12/08)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200801023 2008-4291 2008/12/22 （事故発生地） 沖縄県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） フカダック株式会社 FH-911	当該製品が使用中に発火し、畳を焼損する火災が発生した。 （ 火災 ）	事故原因は、ヒーター管の端子と内部配線とを接続する接続端子が、設計時のステンレス鋼と異なる鉄製が使用されていたことから、ヒーターを使用し続ける間に接続端子の腐食が進行し、接触不良が生じて異常発熱し、出火に至ったものと考えられる。	輸入事業者である、フカダック株式会社では、今後も同様な事故が発生するおそれがあることから、対象製品について、代替品との無償交換を行うこととし、平成２１年１月１４日に、プレス公表を行うとともに、同社ホームページに情報を掲載した。	(受付:2008/12/26)
A200801074 2008-4401 2008/12/30 （事故発生地） 神奈川県	生ごみ処理機 日立多賀テクノロジー株式会社(販売：日立アプライアンス(株)) BGD-V18	当該製品が焼損する火災が発生した。 （ 火災 ）	事故原因は、貝殻等の硬い物を投入して攪拌した際に、処理槽に穴が開いて、処理物が処理槽外に漏れ出し、脱臭装置のヒーター端子部（高温部）で漏れ出した処理物が堆積して過熱され、発煙したものと考えられる。	今後も同様の事故が発生するおそれがあることから、平成２２年５月１９日にプレスリリースを行うとともに、同年５月２０日に新聞社告を行い、使用者に周知し、対象製品について、無償で製品交換を実施しています。	(受付:2009/01/14)
A200801094 2008-4485 2009/01/10 （事故発生地） 東京都	空気清浄機 ダイキン工業株式会社 ACM75H-W	当該製品を運転中に外出したところ火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。 （ 火災 ）	事故原因は、当該製品の電気集塵部の放電線が集塵フィルタに接触にすることにより、導電性物質が集塵フィルタに付着した際に、集塵フィルタと脱臭フィルタの間で放電が発生し、出火したものと考えられる。	ダイキン工業株式会社では、平成２２年４月９日、プレスリリースを行い、使用者に周知し、対象製品について、平成２２年４月１０日から無償で点検・修理を実施することとした。	(受付:2009/01/16)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200801118 2008-4561 2009/01/14 （事故発生地） 福岡県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） 株式会社ビネガーボトラーズ V-700SL	火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	事故原因は、当該製品のダイオード内部に異常が見られたことからダイオードの個体不良により、本体上部カバー内のダイオードから出火したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/01/21)
A200801158 2008-4672 2009/01/18 （事故発生地） 神奈川県	電気ストーブ（ハロゲンヒーター） 株式会社アイアン（倒産） IR-4291	当該製品を使用中に火災が発生した。 （火災）	事故原因は、スイッチ部の不具合で接触不良が生じて異常発熱し、発火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/01/27)
A200801182 2008-4731 2009/01/21 （事故発生地） 愛知県	電気ストーブ（カーボンヒーター） 株式会社アイアン（倒産） IR-7991	当該製品を使用中に火災が発生し、近くの段ボールが燃えていた。 （火災）	事故原因は、電源スイッチのファストン端子にカシメ不良があったため、カシメ部が発熱し、スイッチ内部で短絡が生じて出火したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/01/29)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200801223 2008-4842 2009/01/02 （事故発生地） 静岡県	エアコン 三菱電機株式会社 MSH-2210RT	展示施設で火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	調査の結果、当該製品は焼損が著しく、残存部品が少ない状況であり、また、屋内配線及び電源コードの配線状況が不明のため、出火元及び原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/02/06)
A200801241 2008-4938 2007/11/00 （事故発生地） 愛知県	携帯電話 パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社 P901iS	当該製品をポケットに入れて座って作業をしていたところ、低温やけどを負った。 （重傷）	事故原因は、携帯電話を使用又は保留の状態のまま、折り畳み、ズボンのポケットに入れて座って作業をしていたことと、他に熱源となるものがないことから、当該製品が関係して、太ももに低温火傷を負ったと考えられる。しかしながら、再現実験では、当該製品に異常な温度上昇を確認することはできなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/02/13)
A200801338 2008-5265 2009/02/28 （事故発生地） 北海道	電気冷蔵庫 森田電工株式会社 MR-D90A	倉庫で火災が発生した。現場に当該製品があった。 （火災）	調査の結果、当該製品の内部から発火した痕跡は認められなかった。当該製品の背面下部側の焼損が著しく、電源コードが途中で断線していたが、溶融痕は認められなかった。しかしながら、電源コードには、回収されていない部分があり、使用状態が確認できないことから、出火元及び原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/03/11)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200801343 2008-5299 2009/03/11 （事故発生地） 北海道	電気ミニマット 株式会社広電 KWM-45T	当該製品の半分が焼損する火災が発生した。 （火災）	調査の結果、当該製品の電気部品に発火の痕跡は認められなかったが、マット部の焼損が著しく、マット及びヒーター線の一部が焼失しており確認できないことから、出火元及び原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/03/12)
A200900024 2009-0152 2009/03/17 （事故発生地） 富山県	照明器具 松下電工株式会社（現 パナソニック電工株式会社） HTC988GPL	当該製品のカバーが落下して燃えていた。事故当時、当該製品は使用していなかった。 （火災）	調査の結果、当該製品本体内部のスイッチボックスの焼損が著しく、本体内部に溜まった大量の埃及び虫の死骸によってトラッキング現象が起こった可能性が考えられるが、スイッチボックス内の回路の一部が未回収のため確認できず、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/04/09)
A200900156 2009-0640 2009/05/16 （事故発生地） 福岡県	電気冷蔵庫 三菱電機株式会社 MR-CU33NF	異臭がしたので確認すると、倉庫から煙が出ており、しばらくすると発火し、倉庫が全焼した。 （火災）	調査の結果、当該製品の残存していた電気部品、電源コード等に溶融痕は認められなかったが、建物の焼損は著しく、当該製品各部の焼損も著しいことから、出火元及び原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/05/27)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900258 2009-0981 2009/06/22 （事故発生地） 愛知県	エアコン（室外機） 三菱重工業株式会社 SRC189JH	エアコンを使用していたところ、当該製品から出火する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、内部の電気部品が長期使用によって劣化し、発火に至ったものと推定される。	製造事業者である三菱重工業株式会社は、平成２１年８月２１日付けホームページ及び同年８月２２日付けの新聞において、昭和５６年以前に製造された当該機種を含むエアコンの使用を中止するよう呼びかけている。	(受付:2009/07/02)
A200900371 2009-1297 2009/07/30 （事故発生地） 大阪府	エアコン（室外機） 三洋電機株式会社 SAP-U222C	当該製品を焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、長期使用によりファンモーターの運転コンデンサーが絶縁劣化し、内部短絡が発生して火が外部に噴出し、周辺樹脂へ延焼したものと考えられる。	製造事業者である三洋電機株式会社では、平成２２年５月２１日にプレスリリースを行うとともに事業者ホームページに掲載し、使用者へ告知し、今後も同様の事故が発生するおそれがあることから、使用を中止する呼びかけることとしました。	(受付:2009/08/05)
A200900454 2009-1569 2009/08/21 （事故発生地） 福岡県	エアコン（室外機） 三洋電機株式会社 SAP-U191C(室外機)	当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。 （火災）	事故原因は、長期使用によりファンモーターの運転コンデンサーが絶縁劣化し、内部短絡が発生して火が外部に噴出し、周辺樹脂へ延焼したものと考えられる。	製造事業者である三洋電機株式会社では、平成２２年５月２１日にプレスリリースを行うとともに事業者ホームページに掲載し、使用者へ告知し、今後も同様の事故が発生するおそれがあることから、使用を中止する呼びかけることとしました。	(受付:2009/09/03)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900489 2009-1719 2009/09/07 （事故発生地） 佐賀県	空気清浄機 ダイキン工業株式会社 ACK75J-W	当該製品を焼損する火災が発生し、１名が軽傷を負った。 （火災）	事故原因は、当該製品の電気集塵部の放電線が集塵フィルタに接触にすることにより、導電性物質が集塵フィルタに付着した際に、集塵フィルタと脱臭フィルタの間で放電が発生し、出火したものと考えられる。	ダイキン工業株式会社では、平成２２年４月９日、プレスリリースを行い、使用者に周知し、対象製品について、平成２２年４月１０日から無償で点検・修理を実施することとしました。	(受付:2009/09/15)
A200900600 2009-2162 2009/10/08 （事故発生地） 長野県	生ごみ処理機 ヤンマー株式会社 Re6	当該製品が出火元とみられる火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。 （火災）	事故原因は、ヒーター貼付部の浮き上がりやヒーター線の損傷による局部的発熱により、断熱材が劣化し、難熱性能が低下して、ヒーター線のショートした際に断熱材に着火したものと考えられる。	同様な対策済品の事故は１件（非火災、人的被害なし）発生しています。このため同社では、今後も同様の事故が発生するおそれがあることから、本日プレスリリースを行い、使用者に周知し、対象製品について、無償で他社製の代替品と製品交換を実施することとしました。	(受付:2009/10/28)
A200900658 2009-2394 2009/11/04 （事故発生地） 新潟県	テレビ（ブラウン管型） ソニー電子株式会社(現ソニーイーエムシーエス株式会社) KV-14GT2	当該製品のスイッチを入れたところ発煙・発火し、当該製品及び周辺を焼損した。 （火災）	事故の原因は、長期使用に伴う経年劣化によって電源基板に使用されている部品（サーミスタ）から発火したものと考えられる。	類似の構造を有するブラウン管テレビについて、今後も同様な事故が発生するおそれがあり、また、補修部品もなく、修理対応が不可能であるため、平成２２年６月１０日にプレスリリースを行うとともに、ホームページに情報を掲載して、対象製品について、直ちに使用の中止を呼びかけることとした。さらに、同様の事故が発生するテレビの機種に追加があったことを受け、７月２６日に新聞で社告を行い、改めて使用中止を呼びかけています。	(受付:2009/11/19)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900704 2009-2535 2009/11/18 （事故発生地） 石川県	電気冷蔵庫 東京芝浦電気株式会社（現　東芝ホームアプライアンス株式会社） GR-130ＳＢ	台所付近から異音がしたため確認すると、当該製品から発煙しており、当該製品を焼損した。 （火災）	事故の原因は、当該製品の冷凍室周辺の霜取りをした際の水が、近傍のスイッチの端子部に流れ込んでしまう構造であったため、端子間でトラッキングが発生し、発火に至ったものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、製造事業者である東京芝浦電気株式会社（現　東芝ホームアプライアンス株式会社）では、安全の観点から長年使用の電気冷蔵庫は、部品の経年劣化によって発煙・発火等のおそれがあるため、使用を中止するよう呼びかけている。	(受付:2009/11/30)
A200900822 2009-2979 2009/12/23 （事故発生地） 東京都	テレビ（ブラウン管型） 株式会社 東芝 ２５Ｒ１ＳＶ	当該製品内部の基板の一部が焼損する火災が発生した。 （火災）	事故の原因は、長期使用（２１年）により、当該製品の基板部で水平偏向回路の電源供給リード線端子のはんだ付近にはんだ割れが生じて接触不良状態になり、局部的な異常発熱で異臭が生じたものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、製造事業者である株式会社東芝では、長年使用したブラウン管テレビは、部品の劣化によって事故のおそれがあるため、映像や音に異常がある等の場合は使用を中止するよう呼びかけている。	(受付:2009/12/28)
A200901030 2009-3983 2009/11/15 （事故発生地） 広島県	テレビ（ブラウン管型） 三洋電機株式会社 Ｃ－２８Ｗ６０	当該製品の天面部にある持ち手部分をつかみ上げたところ、破損し、当該製品が足に落下し、１名が負傷した。 （重傷）	事故原因は、当該製品のキャビネット（持ち手部分を含む。）に使用された樹脂材料（ポリスチレン・ブタジエン共重合体）の難燃剤に鉄分が混入したため、酸化が進み弾力性が低下したこと、局部的に応力が加わりやすい構造であること及び当該製品の重量が重かったことが考えられる。	今後も同様の事故が発生するおそれのあることから、平成２２年１月２９日、プレスリリースを行うとともにホームページへの掲載により使用者に周知し、対象製品について無償で対策部品への交換を行うこととしている。	(受付:2010/02/18)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200901077 2009-4066 2010/02/13 （事故発生地） 山梨県	換気扇 三菱電機株式会社 V-20ZS4	火災報知器が鳴動し、異臭がしたため確認すると、当該製品の一部が焼損していた。 （火災）	事故の原因は、長期使用（約２６年）によって、当該製品のモーターがロックし、内部のモーター巻線に過電流が流れて発熱し、発煙したものと考えられた。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、製造事業者である三菱電機株式会社では、長年使用した換気扇は、部品の劣化によって発煙等のおそれがあるため、スイッチを入れてもファンが回らない、回転が不規則、異音や振動がする等の症状があれば使用を中止するよう呼びかけている。	(受付:2010/02/25)
A200901082 2009-4067 2010/02/13 （事故発生地） 神奈川県	電気ストーブ（オイルヒーター） 長田通商株式会社 ノガマティックオイルヒーター	当該製品のスイッチを入れて、その場を離れ戻ったところ、当該製品から出火し、当該製品及び周辺が焼損していた。 （火災）	事故原因は、長期使用に伴って、当該製品のスイッチ・温度調節ダイヤル部分の接点が劣化し、接触不良が生じ、異常発熱して、出火したものと考えられる。	当該製品について、今後も同様な事故が発生するおそれがあるため、平成２１年３月３０日に新聞社告を掲載するとともに、ホームページに情報を掲載して、対象製品について、直ちに使用の中止を呼びかけている。	(受付:2010/02/26)
A200901084 2009-4068 2010/02/15 （事故発生地） 東京都	テレビ（ブラウン管型） 株式会社 東芝 ２９Ｓ６６	異臭がしたため確認すると、当該製品の背面から煙が出ていた。 （火災）	事故原因は、劣化した電解コンデンサーの安全弁が作動し、内部の電解液が気化して蒸気が漏れたものと考えられる。	製造事業者では、平成１６年１月２０日に新聞社告を掲載するとともに、ホームページに情報を掲載して、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・修理を実施しています。	(受付:2010/02/26)

製品区分：　01.家庭用電気製品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200901096 2009-4136 2010/02/16 （事故発生地） 新潟県	電気ストーブ（カーボンヒーター） 株式会社ﾐｭｰｼﾞｰｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ（株式会社山善ブランド） ＣＢＨ－Ｄ９００（株式会社山善ブランド）	当該製品を使用したまま外出して戻ったところ、当該製品が焼損し、周辺が汚損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、首振り部分機構の部品の不具合により電源コードが断線し、発煙・発火に至ったものと考えられる。	株式会社山善では当該製品について、今後も同様な事故が発生するおそれがあるため、平成１６年２月１２日、平成１７年２月２１日等、複数回、新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償改修を実施。	(受付:2010/03/04)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200700534 2007-3938 2007/10/17 （事故発生地） 埼玉県	半密閉式ガス湯沸器（都市ガス用） 株式会社ノーリツ GQ-166WE-F	浴槽に給湯している間に家人の一人が気分が悪くなり、居間に居た別の家人が異常に気付いたが、５名が病院に搬送された。排気ガスが漏れて室内にガスが滞留したものと考えられる。 （ CO中毒 ）	事故の原因は、吸気不足により燃焼状態が悪化し、排気筒の接続が適切でなかったため、ＣＯ濃度が高い排気が排気筒に開いているリベット止め用の穴等から室内に流入したものと判断されるが、当該製品を誰が設置したかが不明であり、約１３年間の長期使用の間に使用者が途中で変わっており、これまでの使用環境、保守点検等の状況も確認できないため、製品起因であるか否かの特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2007/10/19)
A200700719 2007-5045 2007/12/08 （事故発生地） 神奈川県	石油給湯機付ふろがま 株式会社コロナ UKB-3300TXA	家人が風呂を沸かすため点火した後、しばらく経って給湯機から煙が出ているのに気がつき、消火器で消火しようとした時、「ボン」という爆発音がして、炎があがった。 （ 火災 ）	調査の結果、熱交換器とサイレンサーの接続部の一部で、熱交換器のフランジにめくりあがりがみられたことから、そこから漏れた排気ガスで製品内部が焼損したものと考えられるがフランジの変形の原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2007/12/17)
A200700789 2007-5276 2007/12/27 （事故発生地） 東京都	屋外式ガス湯沸器（都市ガス用） 株式会社ノーリツ GQ-1601WMS	当該機器より発煙し、設置面の壁が焦げた。 （ 火災 ）	事故原因は、長期間（１９年）の使用による熱交換器フィン部の燃焼生成物の詰まり及び空気取り入れ口のゴミの詰まりにより、熱交換器とバーナーケース部の接続部に熱応力がかかって変形して燃焼ガスが機器内に漏れてものと判断されるが、事故品の確認調査がは不能であり、製品起因であるか否かの特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/01/04)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200700799 2007-5281 2007/12/24 （事故発生地） 福岡県	石油温風暖房機（開放式） 株式会社コロナ FH-253GT	当該製品の点火スイッチを入れると、白煙が出てきたため中を見ると火が見えたため消火した。 （火災）	調査の結果、当該製品のバーナー下部の焼損が最も激しく、他の部分には出火の痕跡が認められないことから、バーナー下部から出火したと考えられるが焼損が著しいため、出火の原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/01/04)
A200700816 2007-5480 2008/01/02 （事故発生地） 沖縄県	石油給湯機 株式会社　ノーリツ OX-310YSO	当該機器のスイッチを入れようとした際、機器内部から発煙し、機器内部の一部が焼損した。 （火災）	事故原因は、オイルストレーナーの接続部の緩みによって漏れた灯油に引火したものと判断されるが、事故の前に灯油漏れについての修理を行っており、その状況が不明であり、また、発火源については、電気配線には短絡痕は認められず、基盤は焼損が著しいため原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/01/10)
A200700817 2007-5481 2008/01/08 （事故発生地） 石川県	石油給湯機 株式会社　ノーリツ OSS-300	家人がシャワーを使用中にお湯がぬるくなり、当該機器を確認したところ、発煙していた。 （火災）	事故の原因は、長期間（２５年）の使用により、燃焼部の気化筒に腐食亀裂穴が生じており、一部ガス化されない灯油が噴出して異常燃焼となり、熱交換部に多くの煤が付着して排気障害が発生して炉内の圧力と温度が高まったことにより、熱交換器取付板が変形して燃焼ガスが炉外に噴出し、リード線の被覆等に着火したものと判断した。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/01/10)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200700859 2007-5796 2008/01/04 （事故発生地） 福井県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ SX-E350Y	消火をしないまま灯油タンクに給油を行い、タンクを本体に戻す際、こぼれた灯油に引火したと思われる火災が発生し、家人が軽い火傷を負った。 （火災）	調査の結果、当該製品から出火した痕跡は認められず、当該製品の付近にふたが開いた給油タンクがおちており、その周辺の床の焼損が激しいことから、当該製品を使用中に消火をせずに給油を行い、給油タンクを製品本体に戻す際に、ふたが外れ、こぼれた灯油に引火して火災に至ったものと考えられるが、使用状況が確認できないため原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、製造事業者である株式会社コロナは、石油ストーブに給油を行う際は確実に消火するよう使用時の注意喚起・啓発を実施しています。	(受付:2008/01/21)
A200700919 2007-6095 2008/01/22 （事故発生地） 北海道	石油ストーブ（半密閉式） 株式会社コロナ UH-85MR	給油して点火をしたが、点火しなかったため、リセットボタンを何回か押しながら再度点火を行ったところ、当該製品の両側から炎が上がった。その際、家人が軽傷を負った。 （火災）	調査の結果、焼損は当該製品の定油面器付近が最も激しいことから、リセットボタンを何回か押しながら点火したことにより、定油面器から漏出した灯油に引火したものと考えられるが、発火の原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/02/04)
A200700956 2007-6304 2008/01/18 （事故発生地） 広島県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ SX-B27WY	当該製品付近が出火元と思われる火災が発生し、家人１名が軽傷を負った。 （火災）	調査の結果、当該製品の芯は下がっており消火の状態であったが焼損が著しく、原因の特定には至らず、また、ワンタッチ式口金蓋の給油タンクは、焼損した製品本体から離れた場所にあり、使用状況が不明なため原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、製造事業者である株式会社コロナは、石油ストーブに給油を行う際は確実に消火すること、ワンタッチ式の灯油タンク（よごれま栓タンク）については、確実に蓋がロックされているか確認するよう使用時の注意喚起・啓発を実施しています。	(受付:2008/02/12)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200700987 2007-6358 2008/02/14 （事故発生地） 兵庫県	屋外式ガス給湯付ふろがま（ＬＰガス用） 株式会社ノーリツ GRQ-1600G（LPG）	当該機器の使用中にリモコンの表示が消えたため、器具を確認すると、発煙していた。 （ 火災 ）	事故の原因は、空焚きしたために熱交換機のカバーが過熱され、接触していたリモコンコード及び周辺の電装等を焼損したものと判断されるが、当該製品の空焚き防止装置が機能しなかった原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	（受付:2008/02/15）
A200701035 2007-6553 2008/02/12 （事故発生地） 愛知県	石油温風暖房機（開放式） 株式会社 コロナ 不明	火災が発生し、家人１名が死亡した。 （ 火災　死亡 ）	調査の結果、異常燃焼や製品本体からの出火の痕跡は認められず、給油タンクがワンタッチ式のふたを上にして閉じた状態で製品本体の脇におかれており、周辺床には灯油の成分が検出されているが使用状況が不明なため原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、製造事業者である株式会社コロナは、石油ストーブに給油を行う際は確実に消火すること、ワンタッチ式の灯油タンク（よごれま栓タンク）については、確実に蓋がロックされているか確認するよう使用時の注意喚起・啓発を実施しています。	（受付:2008/02/22）
A200701071 2007-6857 2008/02/13 （事故発生地） 東京都	石油温風暖房機（開放式） 株式会社トヨトミ FH-2904T（（株）長府製作所ブランド）	当該製品の設置場所付近から出火する火災が発生し、家人１名が死亡した。 （ 火災　死亡 ）	調査の結果、油受け皿から漏出した灯油に引火した可能性が推測されるが、使用状況及び事故品の確認できず、製品起因か否かの特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	（受付:2008/03/04）

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200701079 2007-6864 2008/02/23 （事故発生地） 広島県	石油ストーブ（開放式） 株式会社コロナ SX-2260	灯油を給油後に点火をしたが着火しなかったため再度点火操作を行った際に、ストーブの近くにこぼれていた灯油に引火したと思われる火災が発生した。 （火災）	調査の結果、異常燃焼や製品内部からの出火の痕跡は認められず、置き台の左側に、堆積した埃に灯油が染みこんで燃焼した痕跡が認められたが、着火・引火の原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/03/05)
A200701138 2007-7124 2008/03/08 （事故発生地） 宮城県	密閉式ガス温風暖房機（ＬＰガス用） 三菱電機株式会社 VGB-40MP-2	当該製品のスイッチを入れて、その場を離れたが、しばらくすると異臭と煙に気がつき戻ると、当該製品から発煙していたため、消火した。 （火災）	事故の原因は、燃焼器の点火確認窓が破損して穴が開いていたために漏れた燃焼ガスによって周辺の物を焼損させたものであった。点火確認窓の損壊の原因は、周辺が腐食したことによるが、加湿機能を有する当該製品の加湿器の水分が長期間の使用（約２６年）の影響によって腐食させたか、機器外部から腐食性のある液体が浸入したものかは特定できなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、当該破損箇所とは別の部位ではあるが、当該製品は、加湿水が溢れ、ガス配管を腐食させるおそれがあることから、製造事業者である三菱電機株式会社は、平成３年１１月３０日より点検・修理を行っている。	(受付:2008/03/18)
A200701181 2008-0023 2008/03/20 （事故発生地） 広島県	石油給湯機 株式会社コロナ UIB-310TX2	当該機器を使用中に器具内部より出火し、建物の外壁等が焼損した。 （火災）	調査の結果、以前から着火不良等の不具合があったにもかかわらず使用を継続していたものであるが、焼損が著しく不具合及び出火の原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくととともに、必要に応じて対応を行うこととする。製造事業者である株式会社コロナは、製品の取り扱い説明書に不具合や故障の場合は、販売店やメーカーに連絡いただくよう記載し、連絡をお願いしています。	(受付:2008/03/28)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200800958 2008-3961 2008/12/07 （事故発生地） 沖縄県	石油給湯機 株式会社ノーリツ OX-310YSO	給湯を使用中に当該機器から発煙しているのに気付きスイッチを切った。その後、再度使用したところボイラ付近で発火した。 （火災）	調査の結果、長期間（１８年）の使用により熱交換器炉底に腐食による孔があいていたことから、炉底部からの高温の排気により、周辺の電装部品等の可燃物が発火したものと判断される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/12/12)
A200900657 2009-2388 2009/11/15 （事故発生地） 茨城県	石油給湯機 長州産業株式会社(ツチヤブランド) EX-403A(ツチヤブランド)	火災が発生し、現場に当該製品があった。 （火災）	調査の結果、事故原因は、電磁ポンプに使用されているＯリング（パッキン）の劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して製品及び周辺を焼損したと考えられる。	平成１７年１月２４日からリコール実施。	(受付:2009/11/18)
A200901053 2009-4024 2010/02/09 （事故発生地） 宮城県	石油給湯機付ふろがま TOTO株式会社（製造：東陶ユプロ株式会社（解散）） RPE43KA	当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品が焼損する火災が発生していた。 （火災）	事故原因は、製品内部の送油ユニット部分について、電磁ポンプパッキンを押さえる板がずれている状態で組み込んだため、そのすき間から油漏れが発生。漏れた油が燃焼筒パッキンに付着、収縮し、熱気が漏れて器具内部が焼損したものと考えられる。	ＴＯＴＯ株式会社は、平成２０年９月に新聞社告の掲載及びホームページにより注意喚起を行うとともに、ＯＥＭ製品を含む対象製品について無償点検・改修を実施している。また、販売店・サービス店を通じて、リコール対象機種がないかの確認等、改修促進を図っている。社団法人日本ガス石油機器工業会では、同構造の電磁ポンプを保有する石油給湯機を販売した６社（ＯＥＭ含む）と共同で、平成２０年１１月から１２月にかけて、順次、新聞広告を掲載し、未改修の該当機種をご使用の消費者に対して速やかに連絡を頂するよう呼びかけている。	(受付:2010/02/22)

製品区分：　03.燃焼器具

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200901105 2009-4135 2010/03/01 （事故発生地） 京都府	石油給湯機付ふろがま 株式会社ノーリツ ＯＴＱ-３０２ＳＡＹ	当該製品から発煙・出火する火災が発生した。 （ 火災 ）	事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のＯリング（パッキン）が劣化により硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツが、平成１４年１０月から無償改修を開始し、平成１８年１２月４日には、再度新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、ＯＥＭ製品を含む対象製品について無償改修を実施している。また、リコール開始後も未改修品での事故が継続しているため、株式会社ノーリツを始めとし、同構造の電磁ポンプを保有する石油給湯機を製造・販売した他５社（ＯＥＭ含む）及び社団法人ガス石油機器工業会では、平成２０年１１月２５日以降順次新聞広告を新聞各社に掲載し、未改修の該当機種をご使用の消費者に対して速やかに連絡を	(受付:2010/03/05)
A200901155 2009-4337 2010/03/21 （事故発生地） 福岡県	石油給湯機 長州産業株式会社 PDX-403D	シャワーを使用中、異音がし、炎が見えたため確認すると、当該製品が焼損する火災が発生していた。 （ 火災 ）	事故原因は、電磁ポンプに使用されているＯリング（パッキン）が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したものと考えられる。	製造事業者である長州産業株式会社では、平成１７年1月及び平成１８年１２月に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、ＯＥＭ製品を含む対象商品について無償改修を実施している。また、リコール開始後も未改修品での事故が継続しているため、長州産業株式会社を初めとし、同構造の電磁ポンプを保有する石油給湯機を製造・販売した他５社（ＯＥＭ含む）及び社団法人ガス石油機器工業会では、平成２０年１１月２５日以降順次新聞広告を新聞各社に掲載し、未改修の該当機種をご使用の消費者に対して速やかに連絡を頂くよう呼びかけを行っている。	(受付:2010/03/25)

製品区分：　04.家具・住宅用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200800173 2008-0803 2008/04/24 （事故発生地） 京都府	門扉 四国化成工業株式会社 09LW(S)	当該製品を開けた際に、錠の可動ハンドルと台座の間に指を挟み、左手人差し指先端部を切断した。当該製品は、敷地の内側に扉が開くように設置されており、可動ハンドルを押すまたは引くことによりロックが解除されて、開けることができる構造であった。 （重傷）	事故原因は、帰宅する際に、当該製品を急いで開けようとして、可動ハンドルを押して開けるところを慌てていて、可動ハンドルを引き、開いたすき間に指が挟まった状態でハンドルを押して扉を開こうとして事故に至ったものと考えられる。なお、当該製品のハンドル部には、指挟みについての注意表示はされていなかった。	製造事業者は、当該事故を受け、製品本体にすき間ができないように仕様を変更するとともに、ハンドル開閉時の注意についての警告表示を行うこととしている。経済産業省としては、同種事故が発生していないことから、引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/05/21)
A200800211 2008-0936 2008/05/25 （事故発生地） 兵庫県	介護ベッド用手すり パラマウントベッド株式会社 ＫＡ－０８９	当該製品のスイングアーム内の隙間に頭が入った状態で発見された。 （重傷）	事故原因は、当該製品のアーム内には頭部を横にすれば入り込めるほどのすき間があった。スイングアームが９０度に開いた状態で固定されており、どのような経緯で入り込んだか不明であるが、頭部がすき間に入り込み、抜けなくなったものと考えられる。	パラマウントベッド株式会社では、平成１３年１０月から当該製品のすき間を埋めるためのＴ字型の簡易部品を無償で配布していたが、事故発生時、当該病院には配布されていなかった。スイングアーム内のすき間への頭部の入り込みを防止する安全対策として、すき間を埋めるＴ字型の簡易部品（樹脂製）が、事業者により無償で供給されており、同様なスイングアームをご使用されている場合は、事業者に連絡し、同部品を取り寄せ、必ず使用すること。	(受付:2008/05/30)

製品区分：　05.乗物・乗物用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200800068 2008-0419 2008/04/02 （事故発生地） 不明	歩行補助車 象印ベビー株式会社 ヘルスバック　ライトミニ	当該製品を使用中に段差部分で折りたたまれ、転倒して重傷を負った。当該製品は折りたたみ式で使用に当たっては、レバー（持ち手部分）を引き上げて開くと１次ロックが掛かり、更に１次ロックが解除されることを防ぐ固定用の２次ロックを掛け２段階で固定するものである。 （重傷）	事故原因は、レバーを引き上げて開く際にゆっくりした動作で行うと、１次ロックが掛かる手前で重くなり、ロックされたように誤認し、１次ロックが不完全な状態で、２次ロックを掛けて使用したために、前輪が段差に当たった衝撃で車体が折りたたまれ、前方に転倒したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、製造事業者である象印ベビー株式会社では、１次ロックをより一層確実に掛かるように形状と材質を変更するとともに１次ロックが掛かっていないと２次ロックが掛からない構造とした。また、本体にロックを必ず掛ける旨の追加表示を行った。また、平成２２年４月１日付けでホームページで注意喚起を行っている。	(受付:2008/04/17)
A200801000 2008-4158 2008/10/29 （事故発生地） 愛知県	自転車 ヨコタサイクル株式会社（倒産）（ユニー株式会社ブランド） レッジーナ（ユニー株式会社ブランド）	当該製品で走行中に、急にペダルが空回りしたため、転倒して重傷を負った。 （重傷）	事故原因は、後ろ車輪ハブのフリー小ギア内部のつめが戻らずに、ペダルを踏み込んだ際にラチェットと噛み合わなかったことによるものと考えられる。また、つめが戻らなかった要因は、製造時におけるグリスの塗布工程や使用中に、埃や水分が浸入しグリスが硬くなったことが推定される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/12/24)
A200801173 2008-4729 2008/08/20 （事故発生地） 福島県	車いす 株式会社インターリンクス シリウス自走型 0101-LA2000	介護ヘルパー２名に付き添われながら帰宅中に、玄関先で当該製品に乗っていた被介護者が、当該製品の前輪左側が外れたため、転倒し骨折した。 （重傷）	事故の原因は、前車輪軸を車いす本体に差し込む製造工程時に、緩み防止用の座金（ワッシャー）を誤って余分に１個組み付けていたために、使用中に固定用ナットが緩み、砂利道走行時に前輪を持ち上げた際に、左前車輪が外れて事故に至ったものと考えられた。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、輸入事業者である（株）インターリンクスでは、平成２０年９月より事業者ホームページに車輪のぐらつき等がないか確認し、異常があった場合は使用を中止し、点検を受けるよう呼びかけている。	(受付:2009/01/29)

製品区分：　05.乗物・乗物用品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200900069 2009-0295 2009/04/13 （事故発生地） 高知県	電動車いす（ハンドル形） スズキ株式会社 ET4E １型	当該製品に乗って、踏切を横断中に列車にはねられ死亡した。 （ 死亡 ）	調査の結果、当該製品の損傷が著しく、作動状況を確認する部品も入手できなかったことから、原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/04/22)
A200900314 2009-1145 2009/03/30 （事故発生地） 広島県	自転車 サイクルヨーロッパジャパン株式会社 Primavera-L	当該製品で坂を上っていたところ、フレームが折れて転倒し、重傷を負った。 （ 重傷 ）	調査の結果、フレームの下パイプに何らかの応力がかかり、き裂が生じ、その後の使用に伴い，　き裂が進行して疲労破壊により下パイプが破断し、上パイプの負荷が増大して上パイプも破断したものと推定される。き裂は前輪に何らかの過大な衝撃が加わったために生じた可能性があるものの、同等品や当時の設計図面を入手できず、フレームの強度不足の有無を確認できず、原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/07/17)
A200900411 2009-1458 2009/07/04 （事故発生地） 東京都	自転車 ブリヂストンサイクル株式会社 ロココ26インチ　LCL60	当該製品で上り坂を立ちこぎしていたところ、左クランクが折れて転倒し、重傷を負った。 （ 重傷 ）	調査の結果、当該製品のペダルを固定するクランクのネジ穴の周囲に亀裂が生じて破断に至ったものであり、以前から亀裂が進展していたことは確認できたが、亀裂に至るような衝撃を受けた痕跡は確認できず、原因の特定に至らなかった。なお、クランクの材質は一般的に使用される金属材料であり、強度に問題は認められなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2009/08/24)

製品区分：　06.身のまわり品

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品　名	事　故　通　知　内　容	事　故　原　因	再　発　防　止　措　置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A200800170 2008-0801 2008/04/13 （事故発生地） 愛知県	靴（パンプス） 橋本産業株式会社（株式会社ニッセンブランド） 1272-5101-115（株式会社ニッセンブランド）	階段を下りていたところ、転倒し、重傷の怪我を負った。 （ 重傷 ）	事故原因はかかと先端部に使用されていた樹脂に成形不良があったため、歩行中に樹脂が破損して外れ、樹脂を製品本体に留めるための金属芯が露出したものと考えられる。それに気が付かず階段を降りていた際に、引っかかり転倒したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2008/05/20)